田辺校地の自然

この絵は田辺校地の横を流れる普賢寺川を描いたもので、これだけを見るとずいぶん田舎の、自然のままに放っておかれたといった感じの風景に見えるのだが、このすぐ先はきれいに護岸されている。田辺に移って七年ほとになるが、その間、国際高校が建ったこと以外急激に変ったということがないため、つい見すごしてしまっているが、気がつくと、やはりずいぶんこのような風景が消えていったようだ。ここも、そんなにいつまでも残ってはいないだろうと思い、描いてみる気になった。

このように風景を写生するということは、最近はほとんどなく、まして、真夏の日盛りの下で、それも絵具を使ってということになると、それこそ学生時代以来ではないだろうか。けっこう新鮮な気持で筆を運ぶことができた。ただその仕上りは、それとはうらはらに、筆を重ねすぎややくたびれた感じの画面になってしまった。

谷川修三（中学校教諭）